

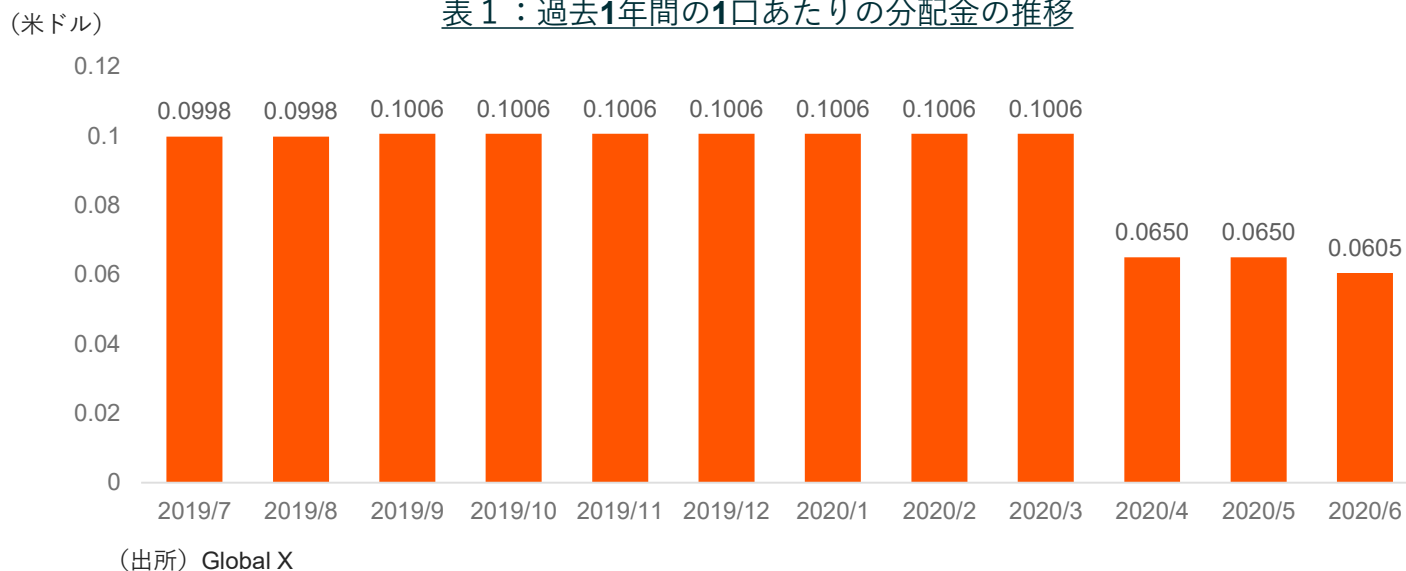
グローバルX スーパーディビデンド-世界リート ETF (SRET) を取り巻く環境について

SRETの今後の分配金の見通し

当ETFの6月4日の分配金は1口あたり0.0605米ドルとなり、5月6日の分配金：0.0650米ドルから約7%減（表1）となりました。主な原因として、4月末に組入銘柄を14銘柄入れ替えた後に、いくつか配当停止・減配の発表があったことがあげられます。例えば、SITE CENTERS CORP (SITC US) が該当します。こちらの銘柄は4月末の組入銘柄の入替において、当ETFに組入後、配当停止を発表しました。

モーゲージREITや従来型REITの多くは、将来の配当を安定させるために、一度に大きな減配を選択する傾向にあり、ポートフォリオの一部の銘柄にもすでに減配した銘柄があります。これらの銘柄の更なる減配の可能性は大きくはありません。ただし、短期的には大幅な分配金の回復は期待し難く、依然配当利回りの高い銘柄は経済状況によってはさらなる減配のリスクもありますので、注意が必要です。

表1：過去1年間の1口あたりの分配金の推移



当ETFの値動きを支える3つの要因

上述の通り、不動産セクター全体の配当の安定性は、経済状況の不透明感により引き続き厳しい状況が続いています。しかし当ETFの今後の値動きについては、以下の3つの要因により支えられると考えています。

① バリュエーション

組入銘柄のREITが保有する資産の価値からみて、適正なバリュエーションよりも低く取引されている銘柄があります。

② 経済指標の回復

新型コロナウイルスで停滞した経済の再開は、不動産市場全体、特に従来型REITに良い影響を与えます。実際に、米国と欧州の製造業の数値には回復が見られます。今後、製造業以外の数値についても回復が確認できれば、REITのより一層の反発が期待されます。

③ ポートフォリオの多様化

4月末の組入銘柄の入替で、ポートフォリオに占めるモーゲージREITの比率が64%から37%まで低下しました。一方、従来型REITの比率は36%から63%まで上昇しました。実物不動産を保有する従来型REITはモーゲージREITと比較して、実体経済の回復の影響をより受けやすいと考えています。結果として、多様化されたポートフォリオは、今後の経済活動の再開の恩恵を享受できるものと考えています。

新型コロナウイルスの第二波が懸念されている中、経済の再停滞や各国間の移動制限には注意が必要です。しかし、上記の3つの要因やすでに大きな配当停止・減配をした銘柄が多いことを考慮すると、REITは今後の景気回復の恩恵を享受できるものと考えています。また、当ETFはポートフォリオで30銘柄保有していること、組入銘柄の比率を均等にしていることなどから、個々の銘柄の影響は限定的だと考えています。

当資料は、Global X Japanが本邦の居住者への証券投資一般等に関する情報提供を目的として作成したものであり、海外ファンド等（本邦での募集の取扱等に係る金融庁への届出等がされていないものを含みます。）についての勧誘を目的としたものではありません。また、当資料は金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料に記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。海外の証券取引所に上場されている商品の購入を希望される場合は、本邦の取扱い金融商品取引業者へお問い合わせいただき、上場有価証券等書面またはその他の開示資料の内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。GLOBAL Xは、Global X社の登録商標です。電子的または、機械的方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製、引用、転載または転送等を禁じます。Global X社は、米国証券取引委員会に登録されている投資顧問業者です。